

# こぼと

守口市民生委員児童委員協議会  
編集 広報・調査部会



第73号

守口市京阪本通2-5-5  
守口市社会福祉協議会内  
〒570-0083 電話 6992-2715



歴代役員、はとの会会員、福祉委員の方々も含め約320名が参加

## 大阪府民生委員(方面委員) 制度創設100周年 守口記念大会

大阪で発祥した「方面委員制度(大正7年)」が創設100周年を迎えました。昨年9月開催予定の守口記念大会は、台風24号の接近で順延となりましたが、

日時・平成31年1月29日(火)

場所・守口文化センター

エナジーホール

開式前・街頭啓発活動

(ティッシュ配布)

第一部・記念式典

第二部・記念講演

と多数の参加者のもとで盛大に開催されました。今大会の企画・運営に尽力された皆様に御礼申し上げます。

### 【第一部】記念式典

「民生委員制度のあゆみ」ビデオ上映、小川会長の挨拶に続き、西端守口市長をはじめ、ご来賓代表の方々より活動への感謝や期待の言葉をいただきました。

式典を通して、100年という記念すべき節目に先輩方が築いてこられた歴史を振り返ると共に、地域の担い手としての歩みを受け継ぎ次の世代につなぐ新たな100年のスタートを切り、我々が重要な役割を担っている事を自覚する機会にもなりました。

白江 嘉朗



民生委員の歌「花咲く郷土」を全員で斉唱

### 小川会長挨拶(要旨)



昨年は、大阪府に民生委員(方面委員)制度が創設された100周年を迎えました。守口市民協としてこの大きな節目にあたり、「地域福祉の向上」「子育て支援、児童虐待の防止」「地域で孤立した人々を出さない」などの諸問題を再認識すると共に、その活動の充実を目指して記念大会を催すことになりました。

諸先輩方が築かれてきた数々の実績に触れるたび、歴史あるこの制度の重大さと必要性を改めて感じるところです。

人々に よりよい100年  
これからも

これは、「制度創設100周年記念大阪府大会」のローガンです。永年、地域の人々と活動を共にした100年!そしてこれから先も100年!地域に密着した民生委員児童委員でありたいとの願いが込められています。私たちは今後もその精神を常に持ち続け、地域福祉の向上を目指して「地域とともに」さらなる活動を継続していくことが望まれます。

これからの100年に向かって私たち256名は、互いに一致協力して「委員の存在」を地域の方に知っていただき、「市民の良き相談相手」として福祉活動に邁進してまいります。



街頭啓発活動(ティッシュ配布)



【第2部】 記念講演



講演される丸谷先生

第2部は大阪府立淀川工科高等学校名誉教諭・吹奏楽部顧問丸谷明夫先生の講演が行なわれました。先生は73歳の現在も現役で指導されています。同校は全日本吹奏楽コンクールで何度も金賞を受賞されています。現在200余名の部員への指導法、自身の生い立ちなどを話されました。まず、ビデオ上映をされ、オーディションや練習風景を見せていただき、生徒一人一人と密に接し、「心で音を」をテーマに心を息に、そして楽器へということを大切に教えられています。上手になるためには、技術だけではなく心からといったことは、我々民生児童委員にも通ずるものがあるのではないかと思います。

生徒たちの演奏は残念ながら聞くことはできませんでしたが、先生のユーモアを交えたお話でとても楽しませていただきました。

中村 宏江

平成30年度 管外研修

豊岡市の防災対策に学ぶ

平成30年11月15・16日

錦秋の山々から景色はゆつたりと流れる円山川に変わり防災センターを車窓から見学。

会場の西村屋に同市防災課佐々木係長を講師に招いて、「水害の話」平成16年台風23号から学んだこと”をテーマにお話を聞きました。

過去の災害を検証し、次のような対策をされています。

◇災害対策本部の機能向上のため、全職員の統一訓練

◇年3回市長が市民へ防災行政無線（全世帯にスピーカーを設置）で避難情報を知らせる訓練

◇毎年8月最終日曜日在全市民による統一訓練日とする

◇自主防災組織で要支援者を援護する個別支援計画の策定など、防災力向上のために取り組まれています。

家村 隆



砂の美術館にも行きました

新年初代会

1月18日ホテルアゴーラ守口にて新年初代会が、ご来賓とはとの会の諸先輩方をお迎えし、201名の参加で開催されました。

信条と児童憲章朗読の後、小川会長の挨拶では、昨年は災害が多い年で、守口市でも大きな被害が発生し、安否確認や避難所への誘導と、適切な対応の重要性が思い知らされた年であり、住民に寄り添い地域に根ざした活動がより一層重要であるとお話がありました。

今回のゲストには、ゴスペルをベースとした聖歌隊



やるきいず@human note♪

村口 初美

やるきいず@human note♪の方々が、春日地区の安藤佳江委員の伴奏で「未来へ」「ふるさと」など、なじみの曲を披露して下さいました。またイントロクイズでは全員参加し楽しいひと時を過ごしました。委員相互の親睦を深めるともに今年も民生児童委員として頑張ります。

地区活動紹介

滝井地区

滝井地区は古い住宅街なので、高齢者が多い地域です。民生児童委員は、福祉委員とともに毎月、主に高齢者を対象とした、ふれあい食事会、いきいきサロン手芸教室などを開催しています。

1月には毎年恒例になった大人気の干支の押絵を作りま



ふれあい食事会の様子

した。2月は一人暮らしの高齢者を対象にカラコロ体操で身体を動かしてもらった後、いなり寿司と五目うどんを提供しました。3月には一人暮らしの方だけでなく、地区のお年寄り全員を対象に、ビンゴゲームや歌を楽しんでもらい、ちらし寿司とかき玉にゆうめんを召し上がっていただきました。

富山 節子

「毎回楽しみにしているよ。」と嬉しい言葉もたくさんいただきました。



# 部会活動報告

## 障がい・高齢者福祉部会 研修会

「くごきげんな暮らしを楽しむために、健康延伸と認知症対応について」と題しての研修でした。

人間は食べ、運動し、体を作るゆえ、低栄養生活では日常生活に支障が出てしまう。だから主体的に工夫をする事が大切である。



身体伸ばしてリフレッシュ!!

認知症は、脳障害の病気と理解する必要がある。忘れや周囲が驚く言動もある。それを「前は出来ていたのに」と責めず、「この言動には理由がある」と考え対応する。介護者も混乱し苦勞するが、抱え込まず役割を分け、地域包括支援も受けて学ぶと良い。地域でも排除せず、寄り添いましょう。

花田 廣徳

## 生活福祉部会文化教室



牛乳パックが大変身!

平成30年度事業のひとつ「文化教室」を開きました。今回の「牛乳パックの小物入れ」の作製に参加した委員の皆様は、説明書を見ながら楽しく、手際良く、作業を進めておられました。一枚の牛乳パックで可愛い小物入れの出来ばえに満足していただいたと思います。

ぜひ、地域活動に役立てていただければ幸いです。

藤田 富美子

## 児童福祉部会研修会

3月12日、大阪府中央子ども家庭センターの徳原氏、里親支援専門員の大東氏を迎え「里親制度について」の研修会を行いました。

里親等があり、まずは、制度について知ること、伝えることとで一人でも多くの子どもが温かい家庭の環境で過ごすことが出来るようにすることが大切であると痛感しました。

小丸 浩代

近年増え続けている虐待件数に伴い、里親を必要とする子ども達の数も増加傾向にあります。その一方で、里親の人数は圧倒的に不足している現状を知りました。里親には、一定期間育てる養育里親、週末を一緒に過ごす週末



里親制度について熱心に語る徳原氏と大東氏

## 主任児童委員連絡会

### 大阪府主任児童委員研修会

2月26日大阪府主任児童委員研修会が開催され「ワンオペ育児、もうひとりりで悩まない!」と題した明治大学商学部教授・藤田結子氏の講演でした。ワンオペとは何らかの理由で仕事・家事・育児を一人でこなさなければならぬ状態。それを少しでも解消するために、父親の家事育児分担・ママ友ネットワークを広げる、社会全体で子どもを育てるまなざしと制度の必要性を訴えていました。

森 滝子



(□は漢字○はカナ)

- ① 知っているか○○○と手品やめにする
- ② 寂しくてオレオレ詐欺と□□□
- ③ 美人薄命私は□□□かもしれぬ
- ④ 通帳とハンコと□がみあたらぬ
- ⑤ うまい酒吞ませてほしい○○○

答えは4面に掲載  
(提供：藤井満寿夫委員)

## 事例 ファイル⑦

ある新年、早朝に電話が鳴りました。「今、知らないお婆さんが来たから、ちよつと来て」とのこと。すぐお伺いすると80歳くらいのお婆さんです。この寒い中、軽装で片方だけの靴下、ツツカケ姿。身元の分かる物は一切無し。「お名前は?」「○○○」「お住まいは?」「分らん」「買い物はどこに行くの?」「スーパー」私の家の近くにはスーパーが2軒あり。「田舎は?」「宮崎県○○○」「子どもさんはいるの?」「息子の○○○」など、こちらの質問することによって、近所の方、民生児童委員に聞いても分からないとの返事。この後、守口署にお伺いし、田舎の住所をパソコンで調べていただくと、「ある、ある。息子さんの名前も出てくるわ」署の人も私も驚きつつ、ほつとしました。宮崎から大阪にどうして来られたのか今も分かりませんが、お婆さんがご家族にお会い出来る事を願いつつ、署を後にしました。その際、お婆さんが「ありがとう、ありがとう」と何度も頭を下げ、手を振られていた姿が今も忘れられません。

### 「守口版地域共生社会」 フォーラム

「共に生き、共に支え合う地域  
共生社会の実現に向けて」

12月5日 於守口市役所

新崎国広教授の基調講演で「我が事・丸ごとの地域づくりをつながりのあるまちづくりをめざして、助け上手・助けられ上手」になろうⅡ」と題し、分かりやすく講演していただきました。



新崎教授の熱き講演

① 今、改めて「地域共生社会」の今日的意義を考える。地域の「2面性」を「包括」と「排除」、「共感」と「偏見」  
② 地域福祉の推進における公助・互助（共助・近助）・自助が協働する意義を学ぶ  
③ 受講者が、「助け上手・助けられ上手」になって、やる気になって元気になる  
休憩時間をはさみ、パネルディスカッションが社協鳥野事務局長、民児協大井児童福

社部会長、赤十字奉仕団佐々木委員長、三郷地域コミュニティ協議会奥山会長、守口市健康福祉部吉安部長の5名のパネリストとコーディネーターの新崎教授によって開始、各自の豊富な経験とご意見が展開され有意義な研修会になりました。

雑賀 武

### 社協・民児協合同 地区委員長会

1月16日に開かれた社協・民児協合同地区委員長会では次のことが討議されています。  
一、避難行動要支援者名簿の配付数について

これまで民生児童委員には全員配付されていましたが、福祉委員用としては改めて必要数を申し出ることになりました。

いざという時の安否確認には、ほかに「救急安心カプセル登録者」や接触頻度の高い「独居高齢者」など複数の名簿があり、どれを優先させるかはかなりの難題に思えます。  
二、高齢者防災見守り安心事業について

行政からの依頼で急きょ11月以降に行われた75歳以上の一人暮らしの方の名簿チェックと

防災グッズの配付では、すでに同様の名簿を持つ地区とそうでない地区とで受け止め方に温度差があり、事業前の打合せがもっと必要だったのではないかとの意見が出されました。また、せっかく苦労して調査した名簿は、整理したものをぜひ地域へフィードバックして欲しいとの要望も出ています。

最後に、社協事務局作成の「災害発生時の安否確認行動マニュアル」について説明があり白熱した会議は終了しました。

奥山 寿一

### 防災フェスタ2019

もり吉ともずんも応援に!!



昆虫食も美味しいよ

2月24日、大阪国際大学にて防災イベントが開催され、大学生、福祉委員、民生児童委員、地域住民258名が参加。

「災害現場の状況について」：被災地支援ボランティア活動を通して」をテーマに、

### 全国児童委員 研究協議会

1月22日、23日の2日間にかけて、横浜プリンスホテルで開催された全国児童委員協議会に出席してきました。

1日目は講義とシンポジウム、2日目は分科会に分かれて事例をもとに討論会が行なわれました。

高齢者は自分から悩みを話してくれませんが、児童は胸の内を明かすことが少なく、悩みを引き出すのは大変なことです。まずは、身近な大人に

竹田市社協事務局水野匡也氏が講義されました。

「言わないかんし、聞かないかん」と大分弁で笑いを交えながら「日常の活動の延長で災害時の活動に活かすことができる」と防災、減災への取り組みと、地域のつながりの重要性を熱心に話されました。

いざという時のために、キッズキャンパスの児童たちも真剣に取り組んでいたのが印象に残りました。

スタッフの皆様、大阪国際大学の学生の皆さん、ありがとうございました。

寺島 登志子

### 編集後記



地域防災部会主催、各自自主防災協議会協賛で、年二回防災訓練及び防災研修会を行っています。今回、KJ法を用いて昨年の台風と地震の問題点を討議及び紙に書く、研修を行いました。

この様な地域行事に参加して住民との触れ合いを多く持ち、情報を共有したいと感じています。情報の収集には色々ありますが、「こばと」を通じた情報も、活用していただければ幸いです。

神内 稔

なっていくこと、大人の気持ちで接するのではなく、同じ年齢で話をしていくこと、そして「聴く耳」「見守る目」「支える手」が最も大切であると改めて考えさせられました。

加藤 昌代